



## はじめに

---

ここでは、『Cisco InfiniBand Fibre Channel Gateway ユーザガイド』の対象読者、マニュアルの構成、および表記法について説明します。内容は次のとおりです。

- [対象読者 \(p.ix\)](#)
- [マニュアルの構成 \(p.x\)](#)
- [表記法 \(p.xi\)](#)
- [関連資料 \(p.xii\)](#)
- [マニュアルの入手方法、テクニカルサポート、およびセキュリティガイドライン \(p.xii\)](#)

### 対象読者

このマニュアルは、ファイバ チャネル ゲートウェイ、および関連するソフトウェアと機器の、設定および管理を担当する管理者を対象としています。サーバスイッチ、Subnet Manager、ファイバ チャネル ゲートウェイ、ホスト チャネルアダプタ、ソフトウェア ドライバなどの機器の運用経験も必要です。

## マニュアルの構成

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

章	タイトル	説明
第 1 章	ファイバ チャンネル ゲートウェイの概要	ファイバ チャンネル ゲートウェイの主要な用語と概念、およびハードウェアとソフトウェアの機能について説明します。
第 2 章	ファイバ チャンネル ゲートウェイの HA	High Availability (HA; ハイ アベイラビリティ) 環境でのファイバ チャンネル ゲートウェイのトポロジ例を示し、フェールオーバーの動作について説明します。
第 3 章	グローバルアトリビュート	CLI または Element Manager を使用したグローバルアトリビュートの設定方法について説明します。
第 4 章	ハードウェアの設置および設定	ファイバ チャンネル ゲートウェイの取り付けおよび取り外しの手順について説明します。
第 5 章	ファイバ チャンネル ゲートウェイの使用法	ファイバ チャンネル ゲートウェイの設定および管理の手順について説明します。
第 6 章	ITL およびゾーン分割	ITL およびゾーンの追加手順について説明します。
第 7 章	PowerPath およびサーバ スイッチの設定	PowerPath のトポロジ例を示し、設定方法について説明します。
第 8 章	Hitachi ストレージの設定	Hitachi ストレージ アレイの設定手順と使用方法について説明します。
第 9 章	LUN のリマッピング	ファイバ チャンネル LUN を SRP LUN にマッピングする手順について説明します。
第 10 章	ストレージ トラフィックの監視	Element Manager によるストレージ トラフィックの監視手順について説明します。

## 表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。

表記	説明
太字	コマンド、コマンド オプションおよびキーワードは <b>太字</b> で示しています。太字の語句は <b>Chassis Manager</b> のエレメントか、またはユーザがそのまま入力しなければならない語句です。
イタリック体	ユーザが値を指定する引数は、 <i>イタリック体</i> で示しています。コマンド以外にイタリック体を使用されている場合、強調を表します。
Menu1 > Menu2 > Item...	フォームを開く際、または目的の機能を実行する際に使用するポップアップシーケンスを表します。
[ ]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{x y z}	必ずどれか1つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。キーワードや引数をまとめて示す場合にも波カッコを使用しています (例: { <b>interface interface type</b> })。
[x y z]	どれか1つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
ストリング	引用符を付けない一組の文字。ストリングの前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めてストリングとみなされます。
screen フォント	システムが表示する端末セッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、 <b>太字</b> の screen フォントで示しています。
イタリック体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、 <i>イタリック体</i> の screen フォントで示しています。
^	^記号は、Ctrl キーを表します。たとえば、画面に表示される ^D というキーの組み合わせは、Ctrl キーを押しながら D キーを押すことを意味します。
< >	パスワードのように出力されない文字は、かぎカッコ (<>) で囲んで示しています。
[ ]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!、#	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。

(注) は、次のように表しています。



(注) 「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。

注意は、次のように表しています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

## 関連資料

ファイバチャネルゲートウェイの関連情報については、次のマニュアルを参照してください。

- 『Cisco SFS Product Family Command Reference』
- 『Cisco SFS Product Family Chassis Manager User Guide』
- 『Cisco SFS Product Family Element Manager User Guide』
- 『Cisco VFrame InfiniBand Site Planning and Preparation Guide』
- 『Cisco VFrame InfiniBand Director User Guide』
- 『Cisco VFrame InfiniBand Director Third Party Integration Guide』
- 『InfiniBand Hardware Installation and Cabling Guide』

## マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、およびセキュリティガイドライン

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、マニュアルに関するフィードバックの提供、セキュリティ ガイドライン、および推奨するエイリアスと一般的なシスコ製品マニュアルの情報については、次の URL で、毎月更新される『What's New in Cisco Product Documentation』を参照してください。ここには、シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も含まれています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

## Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。

Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register/>